

市立川島中だより第19号

令和元年10月31日発行

吉野川市立川島中学校

文責：学校長

TEL 25-2734

「外国語教育の充実！」

秋が深まりつつあります。冬物をそろそろ準備しなくては・・・とっています。さて、ご存じかもしれませんが、来年から小学校の外国語教育が大きく変わっていきます。（中学校は令和3年から全面实施）「This is a pen.」から始まった英語の授業は大きく様変わりします。文科省から示されている指針を紹介します。



小学校 3・4年生（外国語活動 週あたり1コマ） ※吉野川市は既に先行実施をしています。

- ・「聞くこと」「話すこと（やり取り・発表）」を中心
- ・外国語に慣れ親しませ、学習への動機付けを高める。

5・6年生（英語科 週あたり2コマ）

- ・音声に十分慣れ親しんだ上で、段階的に「読むこと」「書くこと」を加える。
- ・指導の系統性を確保。

中学校

- ・外国語で自分自身の考えや気持ちなどを伝え合う対話的な活動を重視。
- ・具体的な課題を設定するなどして、学習した語彙、表現などを実際に活用する言語活動を充実。
- ・授業は外国語で行うことを基本。・・・となっています。

T 1 : Can you play table tennis ?

T 2 : No, I can't. Try again.

T 1 : OK! Can you cook curry and rice ?

T 2 : Yes, I can. Here you are.

私は川島中学校に来る前年度に小学校の勤務があるのですが、左のような会話文が小学生で授業されていました。「can を使った例文！」「Here you are. って何だ」と衝撃を受けました。can+動詞の原形という文法を学んだことは遠い昔のように感じました。

現在の1年生は、在学中に新課程に変わっていきます。現行英語では1200語程度学ぶのですが段階的に増えていき令和6年度には小学校で学んだことを含めると2200～2500語程度になるようです。もちろん高等学校も変わっていき、大学入試では民間の試験導入で混乱が起っています。ただ世の中の流れとして英語科に限らず、コミュニケーションやプレゼンテーションの技能が求められている事は間違いありません。

「授業参観・合唱コンクールがあります。」

11月4日（月）に先日ご案内したとおり授業参観と合唱コンクールを行います。どうか子どもたちの活動の様子をご覧いただければと思っています。また、この日は給食ではなく「お弁当の日」となっていますので重ねてよろしくお願いたします。私も教諭の時には「金賞を取りたい！」と生徒達といっしょに合唱したことを覚えています。さて、今年はどうなることやら・・・今年とは別な意味で楽しみにしています。

